

そめたまご	(染卵)	晩春 四五	*だいこんのはな	(大根の花)	晩春 六九
そめはじめ	(染始)	新年 三四五	だいこんばたけ	(大根畑)	三冬 三二七
そめゆかた	(染浴衣)	三夏 一〇五	だいこんひく	(大根引)	初冬 二九九
そらたかし	(空高し)	三秋 一〇四	*だいこんほす	(大根干す)	初冬 二九九
*そらまめ	(蚕豆)	初夏 一七〇	だいさいにち	(大斎日)	晩夏 一三三
そらまめ	(蚕豆)	初夏 一七〇	だいさぎ	(大鷲)	三夏 一四一
そらまめのはな	(蚕豆の花)	晩春 七〇	*たいさんぼくのはな	(泰山木の花)	初夏 一五五
そらまめまぐ	(蚕豆蒔く)	晩秋 二一三	だいしき	(大師忌)	仲春 四四
*そり	(橇)	晩冬 二九八	*だいしけん	(大試験)	仲春 二五
そり	(雪車)	三冬 二九八	*たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
そり	(雪舟)	晩冬 二九八	*たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
たあぜまめ	(田畦豆)	晩秋 二五三	*たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
*たあそび	(田遊)	新年 三五三	*たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
たいあみ	(綱網)	晩春 五三	*たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
たいいくさい	(体育祭)	三秋 二〇六	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
たいか	(大火)	三冬 二九八	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
たいかん	(大旱)	晩夏 九九	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
*たいかん	(大寒)	晩冬 二六七	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
だいぎ	(砧木)	仲春 三三	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
だいこ	(大根)	三冬 三二七	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
だいこあらう	(大根洗ふ)	三冬 二九九	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
だいこじめ	(大根注連)	新年 三三九	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
*だいこたき	(大根焚)	仲冬 三〇九	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
だいこひき	(大根引)	三冬 三二七	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
だいこほす	(大根干す)	初冬 二九九	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
だいこまく	(大根蒔く)	初冬 二九九	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
たいこやき	(太鼓焼)	晩秋 二二三	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
*たいこん	(大根)	三冬 二九〇	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
*たいこんあらう	(大根洗ふ)	三冬 三二七	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
だいこんうま	(大根馬)	三冬 二九九	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
だいこんつく	(大根漬く)	初冬 二九三	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
だいこんぬく	(大根抜く)	初冬 二九九	たいしけん	(大師講)	晩冬 二七〇
			たいまのねりくよう	(松明あかし)	初冬 三〇七
			たいまのほうじ	(當麻練供養)	初夏 一三三
			*たいもんじ	(當麻法事)	初夏 一三三
			*たいやき	(大文字)	初秋 二二二
			だいらびな	(内裏雛)	三冬 二九〇
			*たうえ	(田植)	仲春 四〇
			たうえうた	(田植歌)	仲夏 一一八
			たうえがさ	(田植笠)	仲夏 一一八
			たうえどき	(田植時)	仲夏 一一八
			*たうち	(田打)	仲春 三二
			たおこし	(田起し)	仲春 三二
			*たか	(鷹)	三冬 三二四
			たかあし	(鷹足)	三冬 三二四
			たかうな	(鷹)	三冬 三二四
			たがえし	(鷹)	三冬 三二四
			*たかかしてはととなる	(鷹化して鳩となる)	初夏 一七〇
			*たかがり	(鷹狩)	三冬 三〇〇
			たかきうし	(田搔牛)	初夏 一一八
			たかきうま	(田搔馬)	初夏 一一八
			*たかきにのぼる	(高きに登る)	晩秋 二二八
			たかく	(田搔く)	初夏 一一八
			*たかこき	(多佳子忌)	初夏 一三四
			*たかしき	(たかし忌)	初夏 一三四
			たかじよう	(鷹匠)	三冬 三〇〇
			たかとうろう	(高灯笼)	初秋 二〇九
			*たかにし	(高西風)	仲秋 一九九
			たかのつめ	(鷹野)	三冬 三〇〇
			たかのはすすき	(鷹の羽芒)	三秋 二五五
			たかのわたり	(鷹の渡り)	三秋 二五六
			たかはこ	(高撥)	晩秋 二二四

たかばしら	(鷹柱)	三秋二二六	たくあんづけ	(沢庵漬)	初冬二九三	たこ	(蛸)	三夏一四四
*たかむしろ	(簞)	三夏一一三	*たぐざとり	(田草取)	晩夏一一八	たこあげ	(蛸揚)	新年三四六
たがやし	(耕)	三春三〇	たぐさひく	(田草引)	晩春一一八	*たこつき	(蛇笏忌)	仲秋二二五
たがやす	(耕す)	三春三〇	*たごぼくき	(啄木忌)	晩春 四七	だこつぼ	(蛸壺忌)	三夏一四四
たかやまはるまつり	(高山春祭)	三春三〇	たけ	(茸)	晩秋二五九	だざいき	(太宰忌)	仲夏一三四
*たかやままつり	(高山春祭)	晩春 四二	たけうう	(竹植う)	仲夏一一九	だし	(山車)	三夏一三〇
*たからぶね	(宝船)	晩春 四二	たけううるひ	(竹植うる日)	仲夏一一九	たしぎ	(田嶋)	三秋二二九
たかる	(田刈る)	新年三四七	*たけうま	(竹馬)	三冬三〇二	たじまい	(田仕舞)	晩秋二二二
たかわず	(田蛙)	晩秋二一一	*たけおくり	(竹送り)	仲春 四三	たずのはな	(接骨木の花)	晩春 六六
*たかわたる	(鷹渡る)	三春 四九	*たけおちば	(竹落葉)	初夏一六四	たずわたる	(田鶴渡る)	晩秋二二九
たかんな	(たかんな)	三秋二二六	たげかざり	(竹飾)	新年三三九	たぜり	(田芹)	三春 七六
*たき	(滝)	初夏一七〇	*たけがり	(茸狩)	晩秋二二六	*たみがえ	(畳替)	年越二九五
*たきあび	(滝浴び)	三夏一一三	たげかわをぬぐ	(竹皮を脱ぐ)	初夏一六四	たたらまつり	(踏鞠祭)	仲冬二〇七
たきいつ	(滝凍つ)	晩夏一一三	たけきり	(竹伐)	初夏一六四	たちあおい	(立葵)	仲夏一六六
たきかこ	(抱籠)	晩冬二八二	たけきりえ	(竹伐会)	仲夏一三三	*たちうお	(太刀魚)	仲秋二三〇
たきかぜ	(滝風)	三夏一一三	*たけさる	(竹伐る)	仲夏一三三	たちおよぎ	(立泳ぎ)	晩夏二二二
たきかる	(滝涸る)	三夏一〇三	たけさく	(竹咲く)	仲秋二一三	たちのうお	(たちの魚)	仲秋二三〇
たきぎさるがく	(新猿楽)	三冬二八一	たけすだれ	(竹簾)	仲夏一六四	*たちばな	(橘)	晩秋二四四
*たきぎのう	(新能)	仲春 四二	*たけにくさ	(竹煮草)	三夏一一三	たちばなのほな	(橘の花)	仲夏一五五
たきぎようじや	(滝行者)	仲春 四二	*たけのあき	(竹の秋)	晩夏一七四	たちばんこ	(立版古)	三夏二二四
たきぎおる	(滝凍る)	晩夏二二三	*たけのかわぬぐ	(竹の皮脱ぐ)	晩春 六七	たちびな	(立雛)	仲春 四〇
*たきしき	(多喜二忌)	晩冬二八二	たけのこ	(筍)	初夏一六四	*たちまちづき	(立待月)	仲秋一九七
たきしぶき	(滝しぶき)	初春 四六	*たけのこ	(筍)	初夏一七〇	たちちゆら	(夕チユラ)	仲秋一九七
たきぞめ	(焚初)	三夏一〇三	たけのこ	(筍)	初夏一七〇	*たつおき	(辰雄忌)	晩夏一七四
たきつぼ	(滝壺)	新年三四五	たけのこながし	(筍流し)	初夏一七〇	*たつくり	(辰雄忌)	初夏一七四
*たきどの	(滝殿)	三夏一〇三	*たけのこめし	(筍飯)	初夏 九三	*たつこき	(田作)	初夏一三四
*たきび	(焚火)	三夏一一二	*たけのはな	(竹の花)	初夏一〇七	たつこき	(立子忌)	初春 四七
たきみ	(滝見)	三冬二九八	*たけのはる	(竹の春)	仲夏一六四	たつこきき	(脱穀)	仲秋二一一
たきみち	(滝道)	三夏一〇三	たけむしろ	(竹筵)	初秋二四六	だつさいき	(達谷忌)	仲夏一三五
たきみちやや	(滝庵茶屋)	三夏一〇三	たけやま	(茸山)	晩秋二一六	だつさいき	(瀬祭忌)	初春 八
*たかあん	(沢庵)	初冬二九三	*たこ	(鳶)	三春 三六	*たつたひめ	(鵜祭魚)	仲秋二二四
たくあんつく	(沢庵漬)	初冬二九三	*たこ	(鳶)	三春 三六		(鵜田姫)	三秋二〇二

*たつぺ	(竹瓮)	三冬	三〇〇	たねおろし	(種下し)	晩春	三二	たまつり	(田祭)	晩春	四一
*た	(蓼)	三夏	一七二	たねかがし	(種案山子)	晩春	三二	たまとくばし	(玉解く芭蕉)	初夏	一六八
たです	(蓼酢)	三夏	一七二	たねがみ	(種紙)	晩春	三三	たまとりまつり	(玉取祭)	新年	三五一
*たでのほな	(蓼の花)	初秋	二五八	たねがわら	(種浸け)	晩春	三二	たまな	(玉菜)	初夏	一七一
たでのほ	(蓼の穂)	初秋	二五八	たねつけ	(種浸ける)	晩春	三二	たまなえ	(玉苗)	仲夏	一七二
*たどん	(炭団)	三冬	二九六	たねつける	(種浸ける)	仲春	三一	*たまねぎ	(玉葱)	三夏	一七一
たない	(種井)	晩春	三一	たねどこ	(種床)	仲春	三一	たまのあせ	(玉の汗)	三夏	一二五
たないけ	(種池)	晩春	三一	*たねとり	(種採)	晩秋	二一三	たまのお	(たまのを)	晩秋	二五八
たながすみ	(棚霞)	三春	一九	*たねなす	(種茄子)	晩秋	二五〇	*たままくばし	(玉巻く芭蕉)	初夏	一六八
たなぎよう	(棚経)	初秋	二二一	たねなすび	(種茄子)	晩春	三一	たままつり	(魂祭)	初秋	二二一
*たなばた	(七夕)	初秋	二二九	たねふくくべ	(種瓢)	仲春	三一〇	たままつり	(魂祭)	初秋	二二一
たなばた	(棚機)	初秋	二二九	たねぶくろ	(種袋)	仲春	三一	たままゆ	(玉繭)	初夏	二二〇
たなばたうま	(七夕馬)	初秋	二二九	*たねまき	(種蒔)	晩春	三一	たまむかえ	(魂迎)	初秋	二二二
たなばただけ	(七夕竹)	初秋	二二九	*たねもの	(種物)	仲春	三一	*たまむし	(玉虫)	晩夏	一四七
たなばたづめ	(棚機つ女)	初秋	二二九	たねものや	(種物屋)	仲春	三一	たまみずおとす	(田水落とす)	仲秋	二〇四
たなばたながし	(七夕流し)	初秋	二二九	たねより	(種選)	仲春	三一	*たまみずはる	(田水張る)	仲夏	一一八
たなばたまつり	(七夕祭)	初秋	二二九	たばこかる	(煙草刈る)	初秋	二五三	たまみずひく	(田水引く)	仲夏	一一八
たにおぼろ	(谷朧)	三春	一五	*たばこのほな	(煙草干す)	三秋	二二三	*たまみずわく	(田水湧く)	晩夏	一〇二
*たにし	(田螺)	三春	五六	たびこほす	(足袋)	三冬	二八八	たむしおくり	(田虫送り)	晩夏	一一九
*たにしあえ	(田螺和)	三春	二七	*たび	(旅始)	新年	三四八	たら	(田母木)	仲秋	二一一
たにしとり	(田螺取)	三春	二七	たびはじめ	(田平子)	新年	三四四	たら	(雪魚)	三冬	三二七
たにしなく	(田螺鳴く)	三春	五六	たまあられ	(魂送)	初秋	二二二	だらだらまつり	(だらだら祭)	仲秋	二二一
たにもみじ	(谷紅葉)	晩秋	二四〇	たまおくり	(玉子酒)	三冬	二八九	たらつむ	(穂摘む)	仲春	六五
たにわかば	(谷若葉)	初夏	一五八	*たまごぎけ	(卵酒)	三冬	二八九	*たらのほな	(穂の花)	初秋	二四六
*たぬき	(狸)	三冬	三一三	*たまごぎけ	(玉せせり)	新年	三五一	たらのめ	(穂の芽)	仲春	六五
*たぬきじる	(狸汁)	三冬	二九〇	たませせり	(玉せせり)	新年	三五一	たらのめ	(多羅の芽)	仲春	六五
たぬきわな	(狸罌)	三冬	三〇〇	たませり	(玉鏡祭)	新年	三五一	たらめ	(鱈め)	三冬	三二七
*たねいも	(種芋)	三春	七二	たませりまつり	(魂棚)	初秋	二二一	たらめ	(タリア)	晩夏	一六五
たねいも	(種薯)	三春	七二	たまだな	(玉椿)	三春	五八	*だりあ			
たねうり	(種選)	仲春	三二	たまつばき							
*たねえらび											
たねえらび											

だりあうう	(ダリア植う)	晩春 三二	ちえもらい	(知恵貰ひ)	晩春 四一	*ちやつきらこ	(ちやつきらこ)	新年 三四九
たるがき	(樽柿)	晩秋 二三七	ちがい	(血貝)	三春 五六	ちやつくり	(茶つくり)	晩春 三四
たるまいち	(垂水)	晩冬 二八二	*ちかまつき	(近松忌)	仲冬 三一	ちやつみ	(茶摘)	晩春 三四
*だるまき	(達磨忌)	新年 三四二	ちがやのはな	(白茅の花)	三秋 二一八	ちやつみつた	(茶摘唄)	晩春 三四
たわらむぎ	(俵麦)	仲夏 一六八	ちくごからす	(筑後鴉)	三秋 二二八	ちやつみかご	(茶摘籠)	晩春 三四
たをうつ	(田を打つ)	仲春 三一	ちくしゅう	(千草)	三秋 二五四	ちやつみがさ	(茶摘笠)	晩春 三四
たをかえず	(田を返す)	仲春 三一	ちくすいじつ	(竹秋)	晩春 六七	ちやつみどき	(茶摘時)	晩春 三四
たをすく	(田を鋤く)	仲春 三一	ちくくふじん	(竹酔日)	仲夏 二四六	ちやのはえり	(茶葉選)	晩春 三四
*たんご	(端午)	初夏 二一九	ちくくふじん	(竹夫人)	三夏 一一三	*ちやのはな	(茶の花)	初冬 三三一
たんこのせつく	(端午の節句)	初夏 二一九	ちくくふじん	(竹夫人)	三夏 一一三	ちやばたけ	(茶畑)	晩春 三四
だんごばな	(団子花)	晩春 六三	*ちじ	(菫)	三春 七〇	ちやまみ	(茶揉み)	晩春 三四
だんごばな	(団子花)	晩春 六三	*ちじみ	(遅日)	三春 一一	ちややま	(茶揉み)	晩春 三四
*たんじつ	(短日)	三冬 二六八	ちしや	(ちしや)	三夏 一〇五	*ちやんちゃんこ	(茶山)	晩春 三四
たんじようえ	(誕生会)	晩春 四四	*ちしゅん	(遅春)	三春 七〇	(ちやんちゃんこ)	(茶山)	晩春 三四
たんぜん	(丹前)	三冬 二八七	ちちこぐさ	(父の草)	初春 七	*ちゆうげん	(中元)	初秋 二二〇
だんちようか	(断腸花)	初秋 二四八	*ちちのひ	(父の日)	晩春 七七	*ちゆうしゆう	(仲秋)	仲秋 一八七
だんつう	(緞通)	三冬 二九五	ちちぶまつり	(秩父祭)	初冬 三〇八	ちゆうしゆうん	(仲春)	仲春 一八七
*たんばい	(探梅)	晩冬 三〇一	*ちちぶよまつり	(秩父夜祭)	初冬 三〇八	ちゆうそえ	(中宗会)	晩春 四六
たんばいこう	(丹波行)	晩冬 三〇一	ちぢみふ	(縮布)	三夏 一〇五	ちゆうふく	(中日)	仲春 四六
たんばぐり	(丹波栗)	晩秋 二三八	ちぢせあめ	(ちぢろ虫)	三秋 二二三	ちゆうりつぷ	(中伏)	晩夏 八八
*たんぼ	(湯婆)	三冬 二九七	ちどめくさ	(血止草)	初冬 三〇五			
*たんぼう	(暖房)	三冬 二九五	ちどり	(千鳥)	三秋 二四九			
だんぼう	(暖房)	三冬 二九五	ちぬ	(ちぬ)	三冬 三一六			
だんぼうしや	(暖房車)	三冬 二九五	ちぬつり	(ちぬ釣)	三夏 三一六			
*たんぼほ	(蒲公英)	三春 七四	ちのわ	(茅の輪)	三夏 一四三			
たんぼほのわた	(蒲公英)	三春 七四	ちまき	(茅)	初夏 一〇七			
(蒲公英の絮)	(蒲公英の絮)	三春 七四	ちまきき	(茅卷)	初夏 一〇七			
だんろ	(暖炉)	三冬 二九五	ちまきゆう	(粽結ぶ)	初夏 一〇七			
ちあゆ	(稚鮎)	晩春 五四	*ちやたてむし	(茶立虫)	初秋 二三五			
ちあゆくみ	(稚鮎)	晩春 五四						
ちえもうで	(知恵詣)	晩春 四一						

ちようしゆんか	(長十郎)	三秋二三七	ついでり	(梅雨入)	仲夏 八六	つくしの	(土筆野)	仲春 七四
ちようしよ	(帳書)	晩春 六八	つかれう	(疲れ鶉)	三夏二一〇	つくしんぼ	(つくしんぼ)	仲春 七四
*ちようせんあさがお		新年三四二	*つきおぼろ	(月籠)	三秋一九五	つくづくし	(つくづくし)	初秋二二二
ちようちよう	(朝鮮朝顔)	晩夏一七四	つきかげ	(月影)	三春 一五	つくづくし	(つくづくし)	仲春 七四
ちようちんぐさ	(蝶々)	三春 五六	*つきぎ	(接木)	仲春 三三	つくづくし	(つくづくし)	
*ちようとし	(提灯草)	仲夏一七八	つきぎなえ	(接木苗)	仲春 三三	つくまなべ	(筑摩鍋)	初秋二二二
ちようのひる	(帳綴)	新年三四二	つきくさ	(月草)	三秋二五八	*つくままつり	(筑摩祭)	初夏一三〇
ちようはい	(蝶の昼)	三春 五七	つきこよい	(月今宵)	仲秋一九六	*つぐみ	(鶉)	晩秋二二八
ちようはじめ	(朝拜)	新年三四八	つきさゆ	(月冴ゆ)	三冬二七二	*つげのはな	(黄楊の花)	晩春 六六
ちようめいぎく	(帳始)	新年三四二	つきしる	(月白)	三秋一九五	*つた	(鶉)	三秋二四六
ちようめいぎく	(長命菊)	三春 六八	つきすずし	(月涼し)	三夏 九一	つたかづら	(鶉かづら)	三秋二四六
ちようめいぎく	(長命縷)	仲夏 二九	つきすずし	(月の雨)	仲秋一九六	つたかづら	(鶉枯る)	三冬二四六
*ちようよう	(重陽)	晩秋二二八	つきのおえん	(月の宴)	仲秋二一六	つたしげる	(鶉茂る)	三夏 七二
ちようようのえん	(重陽)	晩秋二二八	つきのおえん	(月の出)	三秋一九五	*つたのめ	(鶉の芽)	仲春 七二
ちようろぎ	(重陽の宴)	晩秋二二八	*つきわがま	(月の輪態)	三冬三一三	つたもみじ	(鶉紅葉)	三秋二四六
ちよじつ	(猪日)	新年三四三	つきほ	(月日貝)	三春 五六	*つたわかば	(鶉若葉)	晩春 七三
*ちよろぎ	(草石蚕)	新年三四三	つきまつ	(接穂)	仲春 三三	つちあらわる	(土現る)	三春 二二
ちりまつば	(散松葉)	初夏一六一	つきみつ	(接ぎ松)	晩春 七四	つちがえる	(土蛙)	三春 四九
ちりめん	(ちりめん)	三春 二七	*つきみ	(月まつる)	仲秋二一六	つちこいし	(土恋し)	三春 二二
ちりめんじやこ			つきみぐさ	(月見草)	仲秋二一六	つちにおう	(土匂ふ)	三春 二二
ちりもみじ	(散紅葉)	三春 二七	つきみぎけ	(月見草)	晩夏二一七	つちびな	(土雛)	仲春 四〇
ちるさくら	(散る桜)	初冬三二三	*つきみそう	(月見酒)	仲秋二一六	*つちふる	(糶)	三春 一七
ちんかさい	(鎮花祭)	晩春 六〇	つきみだんご	(月見団子)	仲秋二一六	つたがゆ	(筒粥)	新年三四九
ちんじゆき	(椿寿忌)	晩春 四二	つきみづき	(月見月)	仲秋一八七	*つたじ	(躑躅)	晩春 六二
*ちんちようげ	(沈丁花)	仲春 六一	つきみぶね	(月見舟)	仲秋二一六	*つたどり	(筒鳥)	三夏 三九
ちんちろ	(ちんちろ)	初秋二二三	つきよ	(月見豆)	三秋二〇七	つたみおのたい	(包尾の鯛)	新年三三九
ちんちろりん	(ちんちろりん)	初秋二二三	*つくし	(机夜ふ)	三秋一九五	つたみおのたい	(包尾の鯛)	三春 七四
ちんもち	(貨餅)	年越二八四	つくしあえ	(土筆)	仲春 七四	つたみはじめ	(堤焼く)	初春 三〇
*ついな	(追儺)	晩冬三〇六	つくしつむ	(土筆和)	仲春 七四	つたみはせ	(綱引)	三秋二二三

つなひき	(綱曳)	新年	三四九	つよごち	(強東風)	三春	一六
つのみき	(角切)	晩秋	二二〇	つよしも	(強霜)	三冬	二七六
つのごむあし	(角組む蘆)	仲春	七八	つらつらつばき	(つらつら椿)	三春	五八
*つのみた	(角叉)	三春	七八	つらら	(氷柱)	晩冬	二八二
*つばき	(椿)	三春	五八	つりがねそう	(釣鐘草)	仲夏	一七八
*つばきのみ	(椿の実)	初秋	二三六	*つりしのぶ	(釣忍)	三夏	一一六
*つばきもち	(椿餅)	三春	二八	つりしのぶ	(吊忍)	三夏	一一六
つばくらめ	(つばくらめ)	仲春	五一	つりど	(吊床)	三夏	一一二
つばくらめ	(つばくらめ)	仲春	五一	つりど	(釣殿)	初冬	二九九
*つばな	(茅花)	仲春	七七	つりふねそう	(釣船草)	初秋	二五八
*つばながし	(茅花流し)	初夏	九三	つりふねそう	(釣舟草)	初秋	二五八
*つばなの	(茅花野)	仲春	七七	*つりぼり	(釣堀)	三夏	一一三
*つばめ	(燕)	仲春	五一	*つる	(鶴)	三冬	三一六
つばめ	(乙鳥)	仲春	五一	*つるうめもどき	(蔓梅擬)	晩秋	二四五
つばめ	(玄鳥)	仲春	五一	つるかえる	(鶴歸る)	仲春	五一
*つばめかえる	(燕帰る)	初秋	二二七	*つるきたる	(鶴來る)	晩秋	二二九
つばめきたる	(燕來る)	仲春	五一	つるきり	(蔓切)	晩秋	二二四
*つばめのこ	(燕の子)	三夏	一三九	つるしがき	(吊し柿)	晩秋	二〇七
*つばめのす	(燕の巢)	三春	五三	*つるたぐり	(蔓たぐり)	晩秋	二二四
つばすみれ	(壺堇)	三春	五三	つるひき	(蔓引く)	仲春	五一
*つばやき	(壺堇)	三春	七三	*つるべおとし	(釣瓶落し)	三秋	一九三
つまくれない	(壺堇)	三春	二七	つるめそ	(弦召)	晩夏	一三一
(つまくれないあ)		初秋	二四八	つるもどき	(つるもどき)	晩秋	二四五
つまべに	(つまべに)	初秋	二四八	つるわたる	(鶴渡る)	晩秋	二二九
つまみな	(摘み菜)	仲秋	二五一	*つわのはな	(石路の花)	初冬	三三八
*つみくさ	(摘草)	三春	三五	つわのはな	(蔓吾の花)	初冬	三三八
*つめきりそう	(瓜切草)	晩夏	一六七	つわぶぎのはな	(石路の花)	初冬	三三八
*つめたし	(冷たし)	三冬	二六九	てあぶり	(手焙り)	三冬	二九六
*つゆ	(梅雨)	仲夏	九五	*ていじよき	(梯梧の花)	三夏	一五五
*つゆ	(露)	三秋	二〇一		(江女忌)	仲秋	二二五

*ていとくき	(貞徳忌)	仲冬 三一〇	てんがいばな	(天蓋花)	晩夏 一六六	てんぼ	(展墓)	初秋 二二三
でーじー	(デージー)	三春 六八	てんがいがばな	(天蓋花)	初秋 二五七	てんまのおほらい	(天満の御祓)	晩夏 一三三
でかいちよう	(出開帳)	三春 四四	*でんがくど	(田楽豆腐)	三春 二七	てんままつり	(天満祭)	晩夏 一三二
できあき	(出来秋)	仲秋 二一二	でんがくどやき	(田楽焼)	三春 二七	とあみ	(投網)	三夏 一一〇
でくまわし	(木偶廻し)	新年 三四二	*でんかふん	(天瓜粉)	三夏 二七	*とういす	(籐椅子)	三夏 一一四
*でぞめ	(出初)	新年 三四八	てんかふん	(天花粉)	三夏 一一五	*とうかえびす	(十日戎)	新年 三五一
でぞめしき	(出初式)	新年 三四八	でんきもうふ	(電気毛布)	三冬 二八七	とうかしたし	(灯火親し)	三秋 二〇九
てそり	(手櫓)	三冬 二九八	*でんぎようえ	(伝教会)	仲夏 一三二	*とうかしたしむ	(灯火親しむ)	三秋 二〇九
*てっせんか	(鉄線花)	初夏 一六八	でんぎようだいしき	(伝経大師忌)	仲夏 一三二	*とうがらし	(唐辛子)	三秋 二五一
てっせんかづら	(てっせんかづら)	初夏 一六八	*でんぐさ	(天草)	三夏 一八〇	とうがらし	(番椒)	三秋 二五一
てつちり	(てつちり)	三冬 二九〇	*でんぐさあま	(天草海女)	三夏 一九	とうがらす	(唐鴛)	三秋 二二八
*てつどうぐさ	(鉄道草)	初秋 二五〇	*でんぐさとり	(天草採)	三夏 一九	*とうがらん	(冬瓜)	初秋 二四九
てつぼうゆり	(鉄砲百合)	仲夏 一六七	でんぐさとる	(天草採る)	三夏 一九	*とうきいち	(陶器市)	初秋 二一六
でむし	(でむし)	三夏 一五一	でんぐさとる	(石花菜とる)	三夏 一九	*とうぎゆう	(唐黍)	初秋 二五三
*でながえび	(手長蝦)	三夏 一四五	でんぐさほす	(天草干す)	三夏 一九	とうぎよ	(鬪牛)	初夏 二二九
てはなび	(手花火)	晩夏 一二三	でんしぎよ	(天使魚)	三夏 一四二	とうぎよ	(鬪魚)	三夏 一四二
*てはなび	(手花火)	三冬 二八八	でんじくぼたん	(天竺牡丹)	晩夏 一六五	とうきようだいこうしゆうのひ	(東京大空襲の日)	仲春 四一
*てぶくろ	(手袋)	新年 三四六	でんじんおんき	(天神御忌)	晩春 四二	とうけい	(鬪鶏師)	晩春 四〇
*てまり	(手毬)	新年 三四六	*でんじんばな	(天神祭)	新年 三五一	とうけいし	(鬪鶏師)	晩春 四〇
てまりうた	(手毬唄)	新年 三四六	*でんじんまつり	(天神祭)	晩夏 一三二	*とうげんき	(道元忌)	仲秋 二二四
てまりつく	(手毬つく)	新年 三四六	*でんそかしうざらとなる	(田鼠化して鶴となる)	晩春 一二	とうこ	(凍湖)	晩冬 二八二
てまりのはな	(手毬の花)	初夏 一五四	でんたかし	(天高し)	三秋 一九四	*とうこ	(冬耕)	三冬 二九八
*てまりばな	(手毬花)	初夏 一五四	でんでんむし	(でんでんむし)	三夏 一五一	とうこ	(凍港)	晩冬 二八二
てまりばな	(粉団花)	初夏 一五四	でんと	(テント)	晩夏 一二二	とうこ	(登高)	晩秋 二一八
*てみず	(出水)	仲夏 一〇一	でんと	(テント)	三夏 一四七	*とうじ	(冬至)	仲冬 二六五
てみずがわ	(出水川)	仲夏 一〇一	*でんと	(天道虫)	三夏 一四七	とうじがぼちや	(冬至粥)	仲冬 三〇六
でめきん	(出目金)	三夏 一四二	でんと	(瓢虫)	三夏 一四七	*とうじがゆ	(冬至粥)	仲冬 三〇六
でらうえあ	(テラウエア)	初秋 二三八	てんとむし	(てんとむし)	三夏 一四七	とうじばい	(冬至梅)	晩冬 三三〇
てりうそ	(照鷲)	三春 五〇	*てんのうたんじようび	(天皇誕生日)	初春 三九	とうしみ	(とうしみ)	三夏 一四九
*てりは	(照葉)	晩秋 二四〇				とうしみとんぼ		
てりもみじ	(照紅葉)	晩秋 二四〇						

とうじゆ	(とうしんぐさのはな)	仲夏 一七五	*とうろううまる	(蟻螂生る)	仲夏 一四九	*とけいそう	(時計草)	三夏 一五五
とうしんとうんぼ	(灯心草の花)	仲夏 一七五	とうろううかる	(蟻螂枯る)	初冬 三一九	とこなつ	(常夏)	仲夏 一六六
とうすみ	(とうすみ蜻蛉)	三夏 一四九	*とうろうながし	(灯籠流し)	初秋 二二二	ところなつづき	(常夏月)	晩夏 八七
とうすみとんぼ	(とうすみ蜻蛉)	三夏 一四九	とおかじ	(遠火事)	三春 二九八	*ところろてん	(野老節)	新年 三四〇
とうせい	(踏青)	三夏 一四九	*とおしがも	(通し鴨)	三春 一九	*とさみずき	(心太)	三夏 一一一
とうせい	(桃青忌)	初冬 三一〇	とおはなび	(遠花火)	三夏 一四〇	*とざん	(土佐水木)	仲春 六一
とうせん	(投扇)	初冬 三一〇	とおやなぎ	(遠柳)	三夏 四九	とざんうま	(登山馬)	晩夏 一一二
とうせんきよう	(投扇興)	新年 三四五	とかえりのはな	(十返りの花)	三夏 一四〇	とざんぐち	(登山口)	晩夏 一一二
とうだんつつじ	(満天星躑躅)	晩春 六二	*とかげ	(蜥蜴)	晩春 六五	とざんぐつ	(登山靴)	晩夏 一一二
*とうだんのはな	(満天星躑躅)	晩春 六二	ときか	(十返りの花)	晩春 六五	とざんぐや	(登山杖)	晩夏 一一二
とうだんもみじ	(満天星紅葉)	晩秋 二四一	とききのきねんび	(非時香菓)	三夏 一三七	とざんぐえ	(登山小屋)	晩夏 一一二
とうてい	(冬帝)	三冬 二六三	とききのひ	(時の記念日)	晩夏 一三八	とざんでんしゃ	(登山電車)	晩夏 一一二
とうてん	(冬天)	三冬 二七二	ときよ	(時の日)	三夏 一三〇	とざんどう	(登山道)	晩夏 一一二
とうなす	(藤寢椅子)	初秋 二四九	*ときわぎおちば	(渡御)	三夏 一三〇	とざんぼう	(登山帽)	晩夏 一一二
とうねいす	(藤枕)	三夏 一一三	*ときわぎのわかば	(常磐木落葉)	初夏 一六一	とざんやど	(登山宿)	晩夏 一一二
とうまくら	(陶枕)	三夏 一一三	どくきのこ	(常磐木の若葉)	初夏 一六〇	としあく	(年明く)	新年 三三三
*とうみん	(冬眠)	三冬 一一三	*とくさ	(毒茸)	晩秋 二五九	としあゆむ	(年歩む)	年越 二六六
とうむしろ	(簾筵)	三夏 一一三	*とくさかる	(木賊)	仲秋 二四九	としあらた	(年新た)	新年 三三三
*とうもろこし	(玉蜀黍)	初秋 二五三	とくさかる	(木賊刈る)	仲秋 二四九	としあらたまる	(年改まる)	新年 三三三
*とうもろこしのはな	(玉蜀黍の花)	晩夏 一七二	どくたみ	(毒草)	仲秋 二四九	*としおき	(年尾忌)	晩秋 二二五
*とうれい	(冬麗)	仲冬 二六五	どくたみのな	(毒茸)	仲秋 二四九	*としおくる	(年送る)	年越 二六六
*とうろう	(灯籠)	初秋 二〇九	どくたみのはな	(毒菜)	晩秋 二五九	*としおしむ	(年惜しむ)	年越 二六六
とうろう	(蟻螂)	三秋 二三四	どくながし	(毒流し)	仲夏 一七六	としおとこ	(年男)	新年 三三三
					三夏 二二〇	としがみ	(年男)	新年 三三三
						としぎ	(年男)	新年 三三三
						としぎうり	(年木)	新年 三三三
						としぎきる	(年木売)	新年 三三三
						*としきり	(年木伐る)	年越 二八四
						としきたる	(年木樵)	年越 二八四
						としぎつむ	(年木積む)	年越 二八四
						としくる	(年暮る)	年越 二八四

*としこし (年越) 年越二六七
としこしそは (年越蕎麦) 年越二八五
*としこしのはらえ (年越の祓) 年越三〇八

としこしまいり (年越参) 年越三〇八
*としこしもうで (年越詣) 年越三〇八
としこす (年越す) 年越二六七
*としごもり (年籠) 年越三〇八
としざけ (年酒) 年越三〇八

としたちかえる (年立ち返る) 年越三三三
としたつ (年立つ) 年越三三三
*としだま (年玉) 年越三三三
としつまる (年つまる) 年越二六六

*としとくじん (歳徳神) 年越二六六
としながる (年流る) 年越二六六
*としのいち (歳の市) 年越二八四
としのいち (歳の市) 年越二八四
*としのうち (年の内) 年越二六六

*としのくれ (年の暮) 年越二六六
としのさけ (年の酒) 年越二六六
としのせ (年の瀬) 年越二六六
としのはて (年の果) 年越二六六
としのまめ (年の豆) 年越二六六

としのよ (年の夜) 年越二六七
としはじめ (年の始) 年越三三三
*としまもる (年守る) 年越二八五
としむかふ (年迎ふ) 年越二八五
としもる (年守る) 年越二八五

としゆく (年逝く) 年越二六六
*としようい (年用意) 年越二八四
*としようじ (年用意) 年越二八四
*としようなべ (年用) 年越二八四

泥鰯鍋 (泥鰯鍋) 三夏一一一

どじようほり (泥鰯掘る) 三冬三〇〇
*どじようほり (泥鰯掘る) 三冬三〇〇
*としわすれ (年忘) 年越二八五
*とそ (屠蘇) 年越三三三
*とそいわう (屠蘇祝ふ) 年越三三三

とそさん (屠蘇散) 年越三三三
とそしゆ (屠蘇酒) 年越三三三
*とそぶくろ (屠蘇袋) 年越三三三
*とちのはな (檜の花) 初夏一六二
*とちのはな (檜の花) 初夏一六二

*とちのみ (檜の実) 晩秋二四三
*とちのみ (檜の実) 晩秋二四三
*とちのみ (檜の実) 晩秋二四三
*とちのみ (檜の実) 晩秋二四三

*とちもち (椪餅) 晩秋二〇七
*どつぽき (独歩忌) 仲夏一三二
*どてあおむ (土手青む) 初春七二
*どてら (襦袍) 三冬二八七

とのさまがえる (殿様蛙) 三春四九
とのさまがえる (殿様蛙) 三春四九
とのさまがえる (殿様蛙) 三春四九
とのさまがえる (殿様蛙) 三春四九

*とびうお (飛魚) 初秋二三四
*とびお (飛魚) 三夏一四四
*とびこみ (飛び込み) 三夏一四四
*とびろく (飛びろく) 仲夏二〇六

*とぶざま (杜父魚) 三夏一四六
*とぶざま (杜父魚) 三夏一四六
*とぶざま (杜父魚) 三夏一四六
*とぶざま (杜父魚) 三夏一四六

どじよう (土用) 晩夏八八
どじよう (土用) 晩夏八八
どじよう (土用) 晩夏八八
どじよう (土用) 晩夏八八

どじようあい (土用あい) 三夏九二
どじようあけ (土用入) 晩夏八八
どじよううなぎ (土用鰻) 晩夏一一二
*どじようきゆう (土用灸) 晩夏一一二

どじようごち (土用東風) 三夏九二
どじようさぶろう (土用三郎) 晩夏八八
*どじようしじみ (土用蛭) 晩夏一四五
*どじようしばい (土用芝居) 晩夏一一三

どじようじろう (土用次郎) 晩夏八八
どじようたろう (土用太郎) 晩夏八八
どじようたぎ (土用風) 晩夏九四
*どじようなみ (土用波) 晩夏一一一

どじようぼし (土用干) 晩夏一一一
どじようみまい (土用見舞) 晩夏一〇四
*どじようめ (土用芽) 晩夏一六〇
*とよのあき (豊の秋) 仲夏二二二

*とらがあめ (虎が涙雨) 仲夏九六
*とらがあめ (虎が涙雨) 仲夏九六
*とらがあめ (虎が涙雨) 仲夏九六
*とらがあめ (虎が涙雨) 仲夏九六

*とらつぐみ (虎鶉) 仲夏九六
*とらのお (虎尾草) 三夏一四七
*とらひこぎ (寅彦忌) 仲夏一四七
*とらあわせ (鶏合) 仲冬三二二

*とりのひ (鳥居の火) 晩春四〇
*とりのひ (鳥居の火) 晩春四〇
*とりのひ (鳥居の火) 晩春四〇
*とりのひ (鳥居の火) 晩春四〇

どじよう (鳥雲) 仲春五二
どじよう (鳥雲) 仲春五二
どじよう (鳥雲) 仲春五二
どじよう (鳥雲) 仲春五二

*とりくもにいろ	(鳥雲に入る)	仲春	五二	なえいち	(苗市)	仲春	三二	なぐさのめ	(名草の芽)	仲春	七二
*とりぐもり	(鳥曇)	晩春	二〇	なえうり	(苗売)	仲春	三二	なげおうぎ	(投扇)	新年	三四五
*とりさかる	(鳥交る)	三春	五二	*なえきうち	(苗木市)	仲春	三二	なげたいまつ	(夏松扇)	晩夏	一一一
*とりつるむ	(鳥つるむ)	三春	五二	なえしようじ	(苗木植う)	仲春	三二	なごしのほらえ	(名越の祓)	晩夏	一一一
*とりのいち	(西の市)	初冬	三〇七	なえだ	(苗障子)	仲春	三二	なごりのちや	(名残の茶)	晩秋	二一〇
*とりのけあい	(鶏の蹴合)	晩春	四〇	*なえどこ	(苗田)	仲春	三二	なごりのつき	(名残の月)	晩秋	一九七
*とりのこい	(鳥の恋)	三春	五二	なえはこび	(苗床)	仲春	三二	なごりのゆき	(名残の雪)	仲春	一八
*とりのす	(鳥の巣)	三春	五二	*なえいも	(苗運び)	仲春	三二	*なし	(梨)	三秋	三三七
*とりのたまこ	(鳥の卵)	三春	五二	ながいも	(蓼漬)	三秋	二五一	なしうり	(梨売)	三秋	二三七
*とりのまち	(西の町)	初冬	三〇七	ながきも	(長薯)	三秋	二五一	なしえん	(梨園)	三秋	二三七
*とりひく	(鳥引く)	仲春	五二	ながきよ	(永き日)	三春	一一	なしがり	(梨狩)	三秋	二三七
*とりわたる	(鳥渡る)	三秋	二二七	ながさきよ	(長き夜)	三秋	一一	なしさく	(梨咲く)	晩春	六三
*とろろあおい	(とろろあふひ)	晩秋	二〇八	ながしあめ	(ながし雨)	仲夏	九三	*なしのはな	(梨の花)	晩春	六三
*とろろじる	(とろろ汁)	晩夏	一六六	ながしそうめん	(ながし素麺)	仲夏	九三	*なす	(茄子)	晩夏	一七一
*とんぐり	(団栗)	晩秋	二〇八	*ながしはえ	(ながしはえ)	三夏	一〇八	*なすづけ	(茄子漬)	三夏	一〇八
*とんたく	(とんたく)	晩秋	二四三	ながしびな	(ながし雛)	仲夏	九三	*なすなうつ	(齊打つ)	新年	三五四
*とんたくはやし	(とんたく)	晩春	四二	*ながつき	(ながし)	仲夏	九三	*なすなうり	(齊売)	新年	三五四
とんど	(どんたく囃子)	晩春	四二	ながつゆ	(長梅雨)	仲夏	九三	*なすながゆ	(齊粥)	新年	三五四
とんど	(とんど)	新年	三四九	なががなす	(長茄子)	晩秋	一八八	*なすなづめ	(齊花)	初夏	一六九
とんど	(とんど)	新年	三四九	なががむし	(ながむし)	晩夏	一七二	*なすなはやす	(齊はやす)	三春	七三
とんどごぶね	(どんどご舟)	晩夏	一三二	ながらむし	(長虫)	三夏	一三七	なすのうし	(茄子の牛)	初秋	二二一
どんどたく	(どんど焚く)	新年	三四九	ながらたき	(菜殻焚)	初夏	一一九	なすのうま	(茄子の馬)	初秋	二二一
どんどやき	(どんど焼)	新年	三四九	ながらび	(菜殻火)	初夏	一一九	*なすのはな	(茄子の花)	三夏	一六九
とんぴ	(とんぴ)	三冬	二八七	ながれぼし	(流れ星)	三秋	一九八	なすび	(なすび)	晩夏	一七一
*とんぽ	(蜻蛉)	三秋	一三二	なき	(水葱)	三秋	一九八	なすびつげ	(なすび漬)	三夏	一〇八
*とんぽう	(とんぽう)	三秋	一三二	*なきずも	(菜葱)	晩夏	一七五	なすびつける	(茄子漬ける)	三夏	一〇八
*とんぽうまる	(蜻蛉生る)	仲夏	一四九	*なきぞめ	(泣角力)	晩夏	一七五	なすま	(茄子蒔く)	仲春	一一一
*ないとげーむ	(ナイトゲーム)	晩夏	一三三	なぐさかる	(泣枯)	新年	三四四	なすま	(菜種打つ)	初夏	一一九
		晩夏	一三三		(名草枯る)	三冬	三二八	なたねがら	(菜種殻)	初夏	一一九